

第 63 回応用物理学会春季講演会
プラズマエレクトロニクス分科会企画シンポジウム

「宇宙科学・工学とプラズマプロセッシング」

宇宙科学や宇宙工学においてプラズマプロセッシングは重要な役割を果たしているものの、プラズマプロセッシングの観点からのシンポジウム等はあまり行われていなかった。ロケットの推進にスラスタやイオンエンジンが使われており、材料合成の観点からは微小重力を利用したプラズマプロセッシングの研究が行われている。さらにリモートセンシングの技術はプラズマ計測への応用も可能である。ちょうど JAXA が宇宙探査イノベーションハブを立ち上げたことから、宇宙科学あるいは宇宙探査における工学とプラズマプロセッシングとの共通点を議論する機会があると考え、「宇宙科学・工学とプラズマプロセッシング」のシンポジウムを開催する。

日時：2016 年 3 月 20 日（日）13:30-18:00

招待講演者

宇宙科学・工学とプラズマ
白谷正治(九州大学・システム情報科学研究院)

イオンエンジンによる小惑星探査機
細田聡史（宇宙航空研究開発機構）

高密度ヘリコンプラズマ生成とプラズマ推進
篠原俊二郎（東京農工大学・大学院工学研究院）

大電力電気推進
田原弘一（大阪工業大学・工学部）

超小型宇宙探査機のためのプラズマ推進機
鷹尾祥典（横浜国立大学・）

ジオスペース探査衛星による放射線帯観測計画について～プラズマ波動・粒子同時観測～
高島健（宇宙航空研究開発機構）

宇宙用化合物薄膜太陽電池の開発
今泉 充（宇宙航空研究開発機構）

無重力条件での炭素ナノ材料のアーク合成
三重野哲（静岡大学・創造科学技術大学院）

一般講演も募集しています。ぜひお申し込みください。

世話人：渡辺隆行（九大） 朽久保文嘉（首都大）、金子俊郎（東北大）